

第十二回「和田浦くじらゼミ」の概要

テーマ：「頻発する軋轢！今 人間と動物の関係性を考え直す」

(1) タイムスケジュール

第一部：7月20日（土）13：00から16：00まで

場所：南房総市和田コミュニティセンター 3階 市民ホール

- 12：30 受付開始
- 12：50 集合時刻
- 13：00－13：15 「開講挨拶と問題提起」 庄司義則
- 13：15－13：45 「増えすぎた？絶滅危惧種アオウミガメ
—共存を探る沖縄県—」 講師：西野嘉憲
- 13：45－14：15 「狩猟と駆除のはざままで
阿仁マタギの『よろこび』と『うれしい』」 講師：松浦海翔
- 14：15－14：30 質疑応答
- 14：30－14：40 休憩
- 14：40－15：10 「フェロー諸島における地域捕鯨の歴史といま」
講師：赤嶺淳
- 15：10－15：40 「日本国政府によるナガスクジラの捕獲枠の設定について」
講師：西脇茂利
- 15：40－16：00 質疑応答

(以上で第一部は終了。その後、各自宿泊施設にチェックインしていただきます。)

第二部：懇親会の部 18：00— 会場設定も含め、詳細は現在調整中です。

第三部：7月21日（日）午前中（座学の場合9：00－12：00の予定）

(2) 過去の「和田浦くじらゼミ」のテーマの変遷

- 第1回目（H21） 「房州のツチ鯨漁の歴史と現状、食文化について」
- 第2回目（H22） 「イワシとクジラの房州人」と「鯨の科学の実際」
- 第3回目（H23） 「沿岸漁村社会と捕鯨業の将来を問い直す」
—映画「The Cove」・妨害される南氷洋捕獲調査・被災した漁村社会を題材に—
- 第4回目（H24） 「万祝—房州発祥の漁民民芸の結晶—を鑑賞し、考える」
- 第5回目（H25） 「シロナガスクジラ（白長須鯨）のことを学びましょう！」
- 第6回目（H26） 「やはり、今回は国際捕鯨裁判を学びましょう！」
- 第7回目（H27） 「水族館のイルカ問題を起点に、人間と野生生物の関係を考えましょ
う。」
- 第8回目（H28） 「世話人 西脇茂利さんの還暦を祝して」
- 第9回目（H30） 「原点に戻り、ツチクジラを学び直しましょう！」
- 第10回目（R1） 「日本の商業捕鯨の再開について」
- 第11回（R5） 「温故知新＝日本近代の捕鯨史からその未来を考える」
- なお H29 は外房捕鯨の事情に抛り、R2-4 はコロナ禍で実施できませんでした。

第十二回「和田浦くじらゼミ」参加者募集要項

テーマ：「頻発する軋轢！今 人間と動物の関係性を考え直す」

コロナ禍で久しく開催できなかつた和田浦クジラゼミですが、昨夏久しぶりに再開。今夏も第12回和田浦クジラゼミを開催させていただきます。さて、今回のテーマですが、「頻発する軋轢！今 人間と動物の関係性を考え直す」と題し、我々にとって極めて身近な「人間社会と動物の関係性」を皆さんと

一緒に考える機会を設けたいと思います。

近年の日本の気候変動、さらには社会構造の変化（農村社会の高齢化と耕作放棄地の増加）に抛り、本州ではツキノワグマが、北海道ではヒグマが住宅地に出没する事例が増加しており、社会問題化しています。またイノシシやシカの農地への被害は引き続き甚大なものがあり、高齢の農家の気力を削ぐ様な事例も相変わらず多い。また海水温上昇の日本漁業への影響は周知の事実です。

国外では欧米の動物愛護思想は引き続き強靱でその普遍性を訴求。例えば韓国は欧米社会の圧力を受け続け、食用の犬の飼育を数年後に禁止する法律を今年制定しました。現在全世界では東アジアを中心に年間2-3千万頭の犬が消費されていることを考えれば、決して些少な問題ではない。一方で米国東岸のレストランのシェフはロブスターを加熱して殺すことを憂い、その痛みを低減する方法としてロブスターにマリファナを与え始めた。その結果ロブスターの動きが緩慢になり、熱死の苦痛は低減出来そうだと判断。さらにそのロブスターを人間が食べても安全であることを立証。その実用化が検討されている由。

かくしてうっかり極端な事例を挙げてしまうと議論の拡散を予感され、「とんでもないテーマを選んでしまった」という後悔の気持ちが湧き上がってきます。でもこの「人間社会と動物の関係性」は身近な問題であり、避けては通れない。そんな中で提示すべき一つの考え方は、

「具体的な事象の起こる現場をベースに、人間と動物の関係性の現況と

その歴史的推移」をまずはしっかり把握することから始めること。

日本社会の人間と動物の関係性の問題は、まずその現況をよく理解し、さらにその歴史を学び、現状を相対化して直面する問題に向き合うこと。

この高度にグローバル化した世界において「動物愛護思想等の国外の多様な文化や価値観」を無視すべきではないが、それはそもそも上述の作業をした上で、初めて考察に値するのではないかと。そんなことを考えるに至りました。

いずれにせよ、議論を極端に拡散させない為には事前の整理を要しますが、逆に言えば誰でも感じるところを思うまま発言出来る、面白い機会になるかもしれません。ということで、議論の流動化が予想されますが、それはそれで面白い？「後は野と山となれ！」以下に募集条件の詳細を記します。以上

(1) 開催日時と募集人数 (一泊二日)

7月20日(土) 13:00から21日(日) 午前中一杯 30名まで

(2) 参加費

参加費：1万2千円 (一泊2食+酒代込み。)

クレジット支払若しくは指定の口座に7月12日(金)までにお振込み下さい。

宿泊を伴わない参加も可能です。地元の皆さんが電車利用で夕食(交流会)まで参加出来る様に、プログラムを調整しています。費用については、ゼミ参加費、交流会費、二次会費、宿泊費と個別に設定します。詳細は以下(9)項をご参照下さい。

(3) テーマ：「頻発する軋轢！今 人間と動物の関係性を考え直す」

講義の内容は、以下の「(7)項具体的なスケジュール」をご参照下さい。

(4) 申込方法

(ア) インターネット申込 (以下の URL より申込フォームに入力)



<https://asobitabi.enjoyboso.jp/program/detail.html?CN=383535>

※料金のお支払いについては申込フォーム入力時にクレジット支払と口座振り込みを選択できます。「クレジット支払」は事前インターネット申込のみ対象となります。

(イ) 参加申込書をメール若しくは FAX で送付。

「参加申込書」を、パソコンに保存・必要事項を記入の上でメール送信、或いは印刷して必要事項を記入の上ファックス送信してください。申込書受領後確認のご連絡をさせていただきます。申込確定後下記口座へ参加費をお振込ください。

(一般社団法人 南房総市観光協会) メールアドレス tour@cm-boso.com

ファックス 0470-28-5309

電話 0470-28-5307

振込口座 千葉銀行 那古船形支店 店番号 223 普通 3251382

(ウ) 申し込み期限 : 7月10日(水) 11:59まで

参加費振込期限 : 7月12日(金)

※講座に関する問い合わせは：ネイチャースクールわくわくWADA（担当：平川）
電話番号は080-2558-0238、受付時間帯は 8：30-17：00です。
（電話でのお申し込みはできません）

（5）集合時刻 / 場所

集合時刻：7月20日（土）12：50（12：30受付開始・13：00開講）

集合場所：南房総市和田コミュニティセンター 3階 市民ホール

*住所は「南房総市和田町仁我浦 206 番地」、〒番号0470-47-3111です。

*南房総市和田コミュニティセンターの駐車スペースは、集合場所付近にあります。

（6）宿泊先（基本的に和田浦駅又は和田港の近くの民宿施設）

*「四季の宿じんざ」「安田民宿」「醤油屋」等の複数の民宿に分宿していただきます。

参加者の部屋割りについては、NPO 法人ネイチャースクールわくわくWADAが、皆様が申し込み用紙の「宿泊に関する要望欄」に記入された要望を参考に調整します。申し込み用紙の「宿泊に関する要望」欄にご要望等をご記入下さい。但し、「男女別の相部屋」が基本です。ご要望に沿えない場合も想定されますので、予めご了承下さい。

*各参加者の宿泊先、部屋割りについては、受付の際に個別に説明します

（7）具体的なスケジュール

12：30	受付開始	
12：50	集合時刻	
13：00-13：15	「開講挨拶と問題提起」	庄司義則
13：15-13：45	「増えすぎた？絶滅危惧種アオウミガメ —共存を探る沖縄県—」	講師：西野嘉憲
13：45-14：15	「狩猟と駆除のはざま 阿仁マタギの『よろこび』と『うれしい』」	講師：松浦海翔
14：15-14：30	質疑応答	
14：30-14：40	休憩	
14：40-15：10	「フェロー諸島における地域捕鯨の歴史といま」	講師：赤嶺淳
15：10-15：40	「日本国政府によるナガスクジラの捕獲枠の設定について」	講師：西脇茂利

（ア）7月20日（土）の和田浦への公共交通機関について

（電車）JR 館山駅発（上総一ノ宮行き）11：40発 和田浦12：05着

JR 安房鴨川駅発（木更津行き）12：02発 和田浦12：17着

（東京からの便）JR の特急列車の便もありますが、東京駅またはバスタ新宿発の館山及び鴨川行き的高速バスが概ね1時間に1本運行されており、便利です。

(イ) 第二部：交流会の部

18:00—21:00 交流会（会場については調整中です。）

皆さんと一緒にツチクジラやミンククジラ等の多様な部位を食べながら交流しましょう。

21:00— 二次会

（会場については「四季の宿じんざ」です。追って参加人数を制限する可能性があることをお含み置き下さい。又、参加者と不参加者の公平性の確保と昨今の諸経費増の穴埋めに些少ながら貢献したいとの観点より、1000円/人のカンパにご協力いただけますと幸いです。その徴収は、当日二次会会場にて行います。）

(ウ) 第三部：7月21日（日） 正午までに終了

*本来「和田浦くじらゼミ」は週末の土日に実施し、もし土曜日にツチクジラが獲れれば、翌日曜日の早朝にその解体作業を見学する仕組みとなっています。従いまして、セミナー2日目の21日（日）は、前日鯨が獲れた場合には早朝から解体見学。獲れなかった場合は21日（日）の午前中に座学形式のセッションを実施します。

*20日（土）夕刻に、21日（日）午前のセッションの集合時刻を連絡します。

*21日（日）は、正午までには閉会・解散とします。

(8) 7月20日（土）の懇親会終了後の電車の時刻について

日帰り参加も可能です。晩の交流会にもご参加下さい。ツチクジラやミンククジラ等の様々な部位を皆さんと一緒に食べながら交流したいと思います。

なお、和田浦駅発の最終の電車は以下の通りです。

館山方面最終電車 21:33（木更津行）館山着22:02

安房鴨川方面最終電車 22:02（安房鴨川行）鴨川着22:17

(9) 参加費に関する諸規定（税込）

全日程参加費 12,000円

(明細)

*ゼミ参加費（保険料500円を含む） 2,000円

*一泊朝食付宿泊費 5,500円

*交流会（夕食）費（酒代込み） 4,500円

（二次会参加者カンパ 1,000円/人（別途当日二次会会場にて徴収））

(10) セミナーの実施主体

このセミナーはNPO法人ネイチャースクールわくわくWADAの主催です。 以上

(メールでの申し込み先アドレス) : tour@cm-boso.com

(ファックスでの申し込み先番号) : FAX: 0470-28-5309

申し込み日 年 月 日

第12回 和田浦くじらゼミ参加申込書
(※参加される方全員についてご記入ください。)

1. 氏名と生年月日 :

2. 住所 : 〒

3. 電話番号 :

4. 7/20(土)の宿泊について ※該当するものを○又は()で囲んで下さい。

宿泊する

日帰り参加

5. (「宿泊する」に○の方)、部屋割り等につき、要望事項を記入してください。
(例: AさんとBさんとCさんで一部屋をお願いしたい。)

6. 参加する行事 ※参加・不参加について、該当するものを○又は()で囲む
(月日) (項目) (時間帯) (場所) (参加・不参加)
(ア) 7/20(土) セミナー 13:00-16:00 南房総市和田コミュニティセンター (参加・不参加)
(イ) 7/20(土) 交流会 18:00-21:00 南房総市和田コミュニティセンター (参加・不参加)
(ウ) 7/20(土) 交流会二次会 21:00 - 「四季の宿じんざ」1000円/人 (参加・不参加)
(エ) 7/21(日) セミナー 9:00頃 - 12:00 南房総市和田コミュニティセンター (参加・不参加)

7. 交通手段

(ア) 自家用車 (イ) バス・電車等公共交通機関 (ウ) その他
(具体的に)

・宿泊される方には、別途詳細をご連絡いたします。

*集合場所の住所は「南房総市和田町仁我浦 206 番地」、Tel番号0470-47-3111です。

カーナビご利用の方はこの住所又はTel番号を入力して下さい。

・ご不明な点がございましたら、Tel080-2558-0238・ネイチャースクールわくわくWADA
(担当: 平川) までお問合せください。

以上